

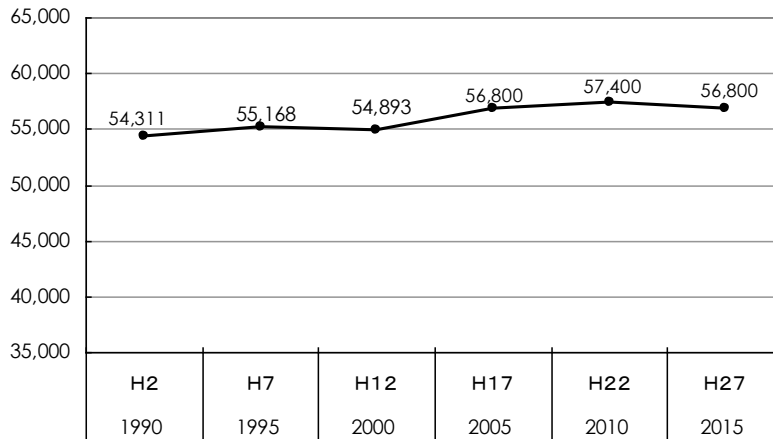
3

主要指標の見通し

3-1 人口（総人口、年齢別人口）

新市は、名古屋市に隣接しており通勤に便利なことからベッドタウン化が進み、現在の人口は約 55,000 人です。現在計画されている土地区画整理事業をはじめとする基盤整備事業が進捗すると、新市外からの転入者が増えるため、新市の人口は平成 22 年には約 57,400 人にまで増加し、平成 27 年には 56,800 人程度になる見通しです。

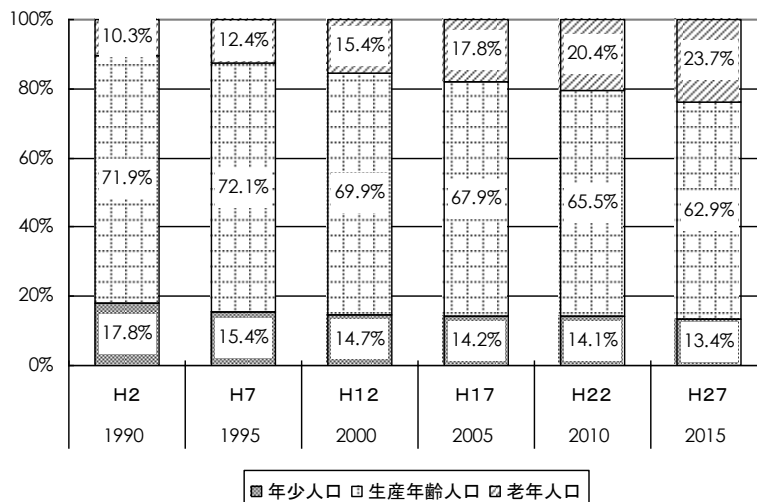
図 3-1 人口の推移と将来見通し



*資料：国勢調査

年齢別人口構成をみると、出生率の低下や平均寿命の伸長などから、今後も高齢化が進むと考えられ、平成 27 年には老年人口が約 13,440 人となり、全人口に占める割合が 23.7%になると予想されます。

図 3-2 年齢別人口構成の推移

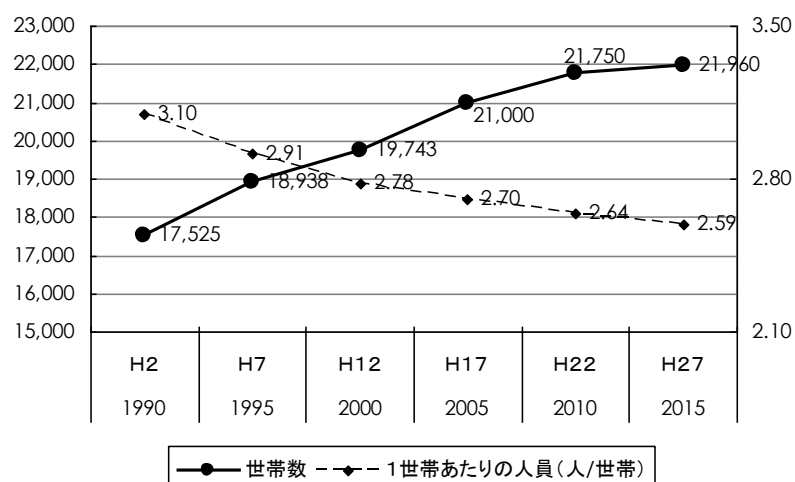


*資料：国勢調査

3-2 世帯数

一方、核家族や単身世帯が増加することにより、1世帯あたりの人員は約2.59人に減少すると予想されます。そのため、世帯数は平成27年には約21,960世帯まで増えると推計されます。

図3-3 世帯数と1世帯あたり人員の推移



*資料：国勢調査